

## 事業概要シート

事業名称	大津っ子夢・未来体験活動推進事業			事業種別	補助	担当部課	教育委員会事務局 生涯学習課		事務事業No.	17				
事業期間	平成 17 年度 ～ 継続			記入者	副参事 田中 恭美									
事業の経緯	平成14年度より学校週5日制に伴い、子どもの生きる力を育むことを目的に、「大津っ子いきいき体験活動推進事業」と「学び・ときめき・育ち合い事業」を実施した。しかし、子どもを対象とした体験活動として両事業は類似していることや、補助金の有効活用等の観点から見直し、平成17年度に2つの事業を整理統合、より効果的な事業とすべく、全学区において地域ぐるみで取り組める事業として実施することとした。			根拠法令	大津市補助金等交付規則、大津っ子夢・未来体験活動推進事業補助金交付要綱									
				根拠条例	なし									
事業目的・事業の位置づけ(首長公約、マニフェスト、総合計画、緊急度など)	家庭・学校・地域が連携し、融合して、地域全体で地域の教育資源を活かした豊かな体験活動を実施し、子どもの「社会力」をはぐくみ、子どもを中心に見据えたまちづくりを目的とした事業を推進する。 (総合計画第2期実行計画 方針01-政策01-施策01-視点01-重点事業02)			必須業務の有無	なし									
				これまでの成果	成果の内容	地域の特性や資源を活かした取り組みが地域ぐるみで行われている。このことは子どもたちに豊かな体験活動やふれあい活動ができる良い機会となっている。また社会性や公共性を身につける機会や、心豊かにたくましく生きる力を育む基ともなっている。								
事業概要・施設概要 (補助金の場合、補助率・算出根拠・限度額、対象者など)	(1)大津っ子夢・未来体験活動推進事業補助金交付 小学校区を基盤とした地域コミュニティの諸団体に構成される実行委員会に補助金交付。 (家庭・学校・地域が連携、融合して子どもに地域の教育資源を活かした活動を体験させる事業)を対象とする。全学区で実施 補助金額は均等割(50,000円)+児童数割で算出 1実行委員会あたり80,000円～140,000円(補助限度額) (2)地域実行委員会に対する研修会の実施 (3)子どもの体験活動を支援するサポーターの登録・紹介及び体験活動実践交流会の開催 (4)大津っ子夢・未来体験活動推進協議会の開催				活動指標名	実施事業数								
				指標の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込	目標値(H22)					
【収入】	千円	H20実績	H21実績	H22見込	対象者の状況	成果指標名	体験活動参加者数							
	使用料・手数料					指標の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込	目標値(H22)			
国支出金(補助率)					対象者の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込	目標値(H22)				
県支出金(補助率)						人	39,378	33,151	38,000	40,000				
その他( )					将来の動向	対象者名	市内の児童・生徒数							
収入合計	0	0	0	人		28,644	28,852	29,034	—					
【支出】	千円	H20実績	H21実績	H22見込	民間委託	委託の現状	なし							
人件費						受け皿の存在	なし							
正規職員	従事人数(人)	0.5	0.3	0.3	市における類似事業	なし								
人件費	人件費	4,200	2,604	2,520										
臨時・嘱託・再雇用職員	従事人数(人)				近隣・同等規模等の都市の状況	滋賀県内で類似事業を行っているのは守山市である。 守山市:「遊友ホリデークラブ事業」 子どもの体験活動を年5回以上行う自治会に対し、補助金(一律2万円)を交付。 近畿管内の中核市(本市除く7市)で類似事業を行っているのは、奈良市と和歌山市である。 奈良市:「子どもの居場所づくり事業」 子どもの体験活動を行う小学校区の青少年関係団体に補助金(児童数に応じ、6.5万円～12.4万円)を交付。 和歌山市:「小学校区子どもセンター事業」 子どもの体験活動を行う小学校区子どもセンター運営委員会に補助金(一律14万円)を交付。								
事業費(予算・決算)		4,114	3,862	4,098										
支出合計	8,314	6,466	6,618											
【収支】	千円	H20実績	H21実績	H22見込										
一般財源充当額	8,314	6,466	6,618											
対象者あたり一般財源充当額	0	0	0											
主な事業費(H22見込)	事業名称	事業概要			事業費	国、県の補助金の動向	なし							
	大津っ子夢・未来体験活動推進事業	大津っ子夢・未来体験活動推進事業補助金交付			4,000	廃止したときの影響	子どもを育むための取り組みを地域主体で進める施策であり、年間3万3千人を越える参加者がある。地域ぐるみでされている事業を廃止することは、子どもの体験活動の機会が減少されるとともに地域の教育力の活性化が図れない。							
						その他特記事項・留意事項など	この事業は、家庭・学校・地域が連携・融合して、各学区の地域の教育資源を活かし、子どもを対象とする交流体験活動・ボランティア体験活動・自然体験活動・職場体験活動など、様々な体験活動を促進する事業として地域に定着してきている。事業のきっかけは週5日制であったが、今日、子どもに様々な体験をさせることによって学校教育を補完し、子どもの豊かな人間性や、社会奉仕の精神を養い、更には家庭や地域の教育力の向上に繋がる有効な手立てとして、大津市教育振興基本計画で目指す「夢と志をもち、社会の中で心豊かにたくましく生きる子ども」像に大きく貢献できる事業である。							